

「知事とのタウンミーティング」

安心して暮らせるために、 今後の地域医療と介護を語ろう！

平成29年9月5日（火）

会場：五泉市さくらんど会館 イベントホール

1 次第

午後6時00分 開会、知事挨拶、五泉市長挨拶

6時15分 事務局から概況説明

6時20分 パネルディスカッション 開始

※ 出演者のプロフィール等は裏面をご覧ください。

※ 会場との意見交換の時間も予定しています。

8時00分 タウンミーティング 終了

～閉会～

2 お願い

- アンケートにご協力をお願いします。（アンケート用紙は配付資料内にあります。お帰りの際に、受付のアンケート回収箱にお入れください。）
- 知事へのご意見、ご質問など、この場でご発言できなかった場合は、受付に設置した専用はがきをご利用いただき、「知事へのたより」をお寄せください。
- 開会中は携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。

主催：  新潟県

パネリスト

かねこ よしのぶ

金子 義伸 さん 五泉市東蒲原郡医師会 会長

- ◇ 東京医科大学大学院卒業。日本循環器学会認定専門医。日本内科学会認定内科医。
- ◇ 昭和50年、東京医科大学付属病院に勤務
- ◇ 昭和55年、東京医科大学八王子医療センター（循環器内科）に勤務
- ◇ 昭和58年、五泉市（旧村松町）に父の医院を継承し金子医院を開業
- ◇ 平成26年6月、五泉市東蒲原郡医師会 会長に就任

なしもと あつし

梨本 篤 さん 南部郷総合病院 院長

- ◇ 県立がんセンター新潟病院で28年間、胃癌一筋にがん医療に従事
- ◇ 手術後の患者さんたちが集まって話し合う場の必要性を感じ、1996年に胃の手術を受けた患者会「胃・友の会」を立ち上げ、現在も活動を継続中
- ◇ 平成16年、日本胃癌学会の理事に就任
- ◇ 平成22年、「温故知新」をテーマに第82回日本胃癌学会総会を新潟市で開催
- ◇ 平成27年4月から南部郷総合病院に勤務

きりゅう ふみえ

桐生 文枝 さん 特別養護老人ホーム山王苑 看護師

- ◇ 五泉市出身。県立村松高校を卒業。
- ◇ 昭和47年、看護師免許を取得
- ◇ 昭和53年から市内の南部郷総合病院、北日本脳神経外科病院に勤務
- ◇ 平成18年末から特別養護老人ホーム山王苑に勤務

ささげ なおと

捧 直人 さん 特別養護老人ホーム菅名の里 園長

- ◇ 五泉市出身。淑徳大学社会福祉学部を卒業。社会福祉士。
- ◇ 新潟市及び三条市の介護施設に勤務
- ◇ 平成6年、社会福祉法人中東福祉会へ入職し、五泉中央デイサービスセンター長や特別養護老人ホーム帛の郷園長を歴任
- ◇ 現在、五泉市介護認定審査会の委員を務める

コーディネーター

よねやま りゅういち

米山 隆一 新潟県知事

- ◇ 魚沼市出身。東京大学医学部を卒業。
- ◇ 東京大学先端科学技術研究センターの特任講師や、弁護士法人おおたか総合法律事務所などで、医師・弁護士として活躍。
- ◇ 平成28年10月、新潟県知事選挙に出馬し、当選。（現在1期目）

新潟県の医療体制

二次医療圏（＝構想区域）

【新潟県の特性】

県土は全国第5位の面積で、政令指定都市を持つ、南北に長い地形。西側は日本海に面し、県境は山に囲まれ、全国有数の降雪量。

特殊なサービスを除いて比較的専門性の高い入院医療活動がおおむね完結できる区域として7圏域を設定。



医療連携体制の構築

診療所を含む地域の医療機関が相互に連携を図りつつ、5疾病5事業等をはじめとする医療を県民の皆様に提供



※5疾病
がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患

※5事業
救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児医療

今後の動き

【背景】

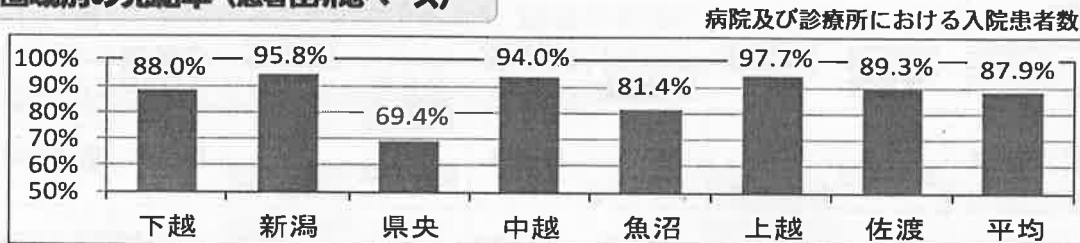
高齢者の増加、疾病構造の変化、医療ニーズの変化、人口の減少etc...



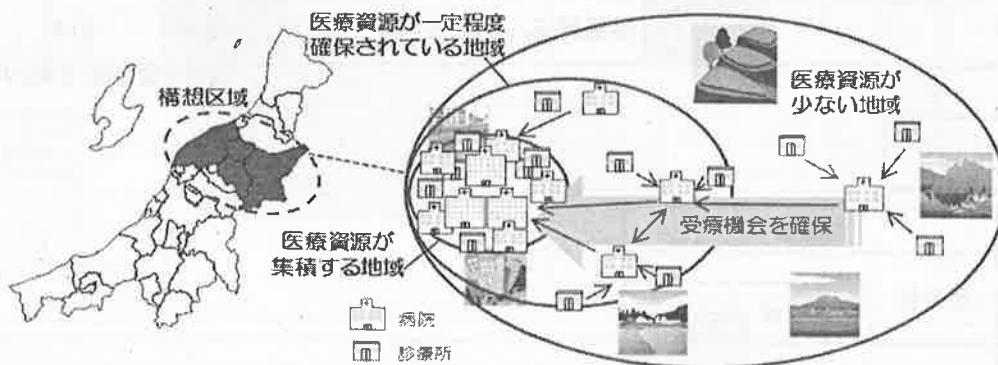
将来の医療需要に対応した体制の構築

新潟圏域の状況について

圏域別の完結率（患者住所地ベース）

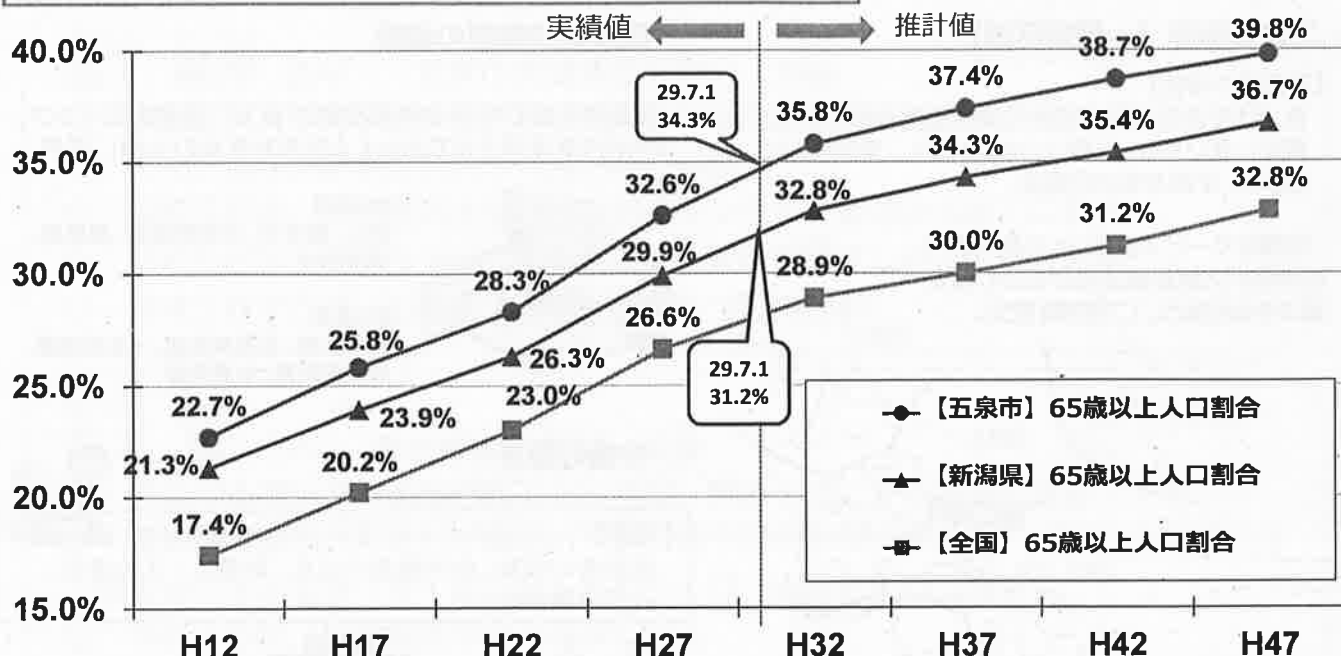


厚生労働省「平成26年度患者受療動向データ」



○ 新潟圏域においては、完結率（自分の住んでいる圏域に所在する医療機関に入院している割合）が高いものの、圏域内で医療資源が集積する地域と医療資源が比較的少ない地域が混在している。

高齢化率の推移(五泉市・新潟県・全国)



(出典)H27以前:国勢調査(※H12及びH17の五泉市は、旧五泉市及び旧村松町の計)

H29.7.1:新潟県統計課「新潟県推計人口(月報)」

H32以降:【本県・五泉市】国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成25年3月推計)」

【全国】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」

○ 五泉市の高齢化率は、新潟県や全国と比べ、やや高く推移している。

3

医療施設の現状(五泉市・新潟圏域・新潟県)

○病院

施設数 種別	施設数			病床数 種別	病床数			人口10万人当たりの病床数		
	県全体	新潟圏域	五泉市		県全体	新潟圏域	五泉市	県全体	新潟圏域	五泉市
一般病院	112	43	3	一般病床	17,092	6,926	324	742	756	630
				療養病床	4,922	2,467	194	214	269	377

総務省統計局「平成27年 医療施設調査」

○診療所

施設数 種別	施設数		
	県全体	新潟圏域	五泉市
一般診療所	1,694	727	40

総務省統計局「平成27年 医療施設調査」

4

介護保険施設の現状(五泉市・新潟圏域・新潟県)

○介護保険施設の定員

H29.4.1現在

種別	施設定員			高齢者10万人当たりの施設定員 (施設定員/高齢者人口×100,000)		
	県全体	新潟圏域	五泉市	県全体	新潟圏域	五泉市
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	17,288	6,253	544	2,467	2,419	3,142
介護老人保健施設	10,253	4,198	90	1,463	1,624	520
介護療養型医療施設	1,546	537	50	221	208	289
計	29,087	10,988	684	4,151	4,251	3,951

※1 新潟圏域:五泉市、新潟市、阿賀野市、阿賀町

※2 介護老人福祉施設は、定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームを含む

○五泉市所在のその他主なサービス事業所

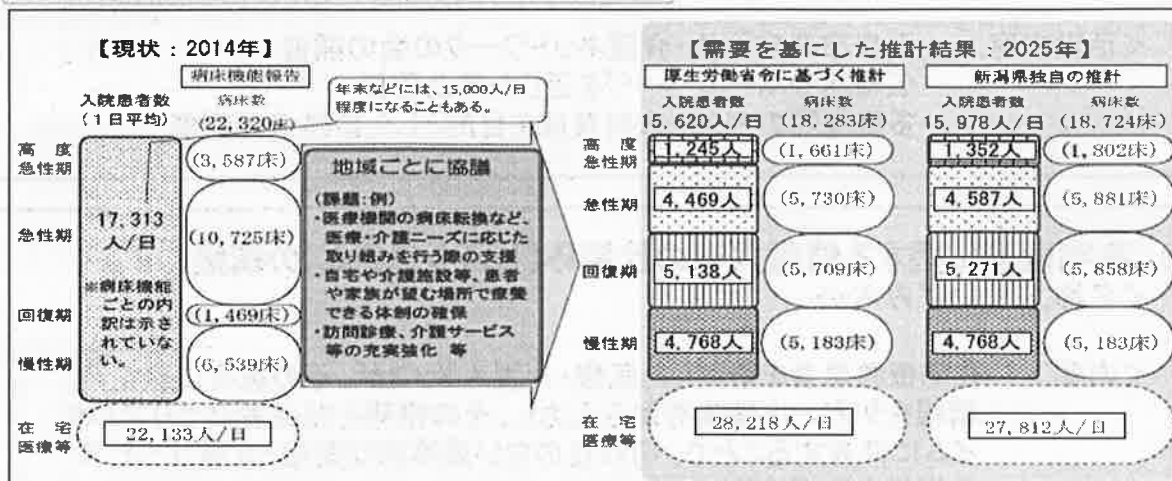
種別	箇所数
老人デイサービスセンター	14
認知症高齢者グループホーム	6
小規模多機能型居宅介護事業所	8

H29.4.1現在

地域医療構想

人口減少や高齢化等、急激な人口構造の変化に対応し、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の実情に沿った、医療・介護サービスの提供体制の充実を図ることを目的とし、平成29年3月に策定

新潟県の現状(入院患者数)と2025年の推計



- 将来(2025年)の回復期、在宅医療等の需要増に対応した体制の整備が必要
- 構想の推進に向けた、3つの施策の柱は、①病床の機能分化・連携、②居宅等における医療の充実、③医療・介護人材の確保・育成

地域医療構想(新潟圏域)

新潟圏域の現状(入院患者数)と2025年の推計

現状(2014年)				将来推計(2025年)			
構想 区域	病床機能	病床数 (H26病床機能報告)	入院患者数 (H26病院報告)	推計1:厚生労働省令に基づく推計		推計2:新潟県独自の推計	
				病床数	入院患者数 (医療需要)	病床数	入院患者数 (医療需要)
新潟	全体	9,494	7,352	7,728	6,573	7,785	6,620
	高度急性期	2,055		799	599	817	613
	急性期	3,917		2,526	1,970	2,547	1,987
	回復期	695		2,308	2,077	2,326	2,093
	慢性期	2,827		2,095	1,927	2,095	1,927

【現状・課題】

- 将来、高度急性期・急性期及び慢性期の機能を持つ病床については、需要が減少し、回復期の機能を持つ病床については需要が増加
- 高齢化の進展等により、増加が見込まれる老人慢性疾患患者の受け皿を整備する必要

【施策の方向性】

- 病床機能の異なる医療機関における機能(役割)分担と連携の促進
- 老人慢性疾患患者の受け皿となる在宅医療の提供体制の充実

7

在宅医療に関する五泉地域の取組

○ 在宅医療を推進する拠点の整備(在宅医療推進センター)

〈設置主体〉 五泉市東蒲原郡医師会

〈活動内容〉 ・五泉市在宅医療・介護ネットワークの会の開催
 ・広報誌やホームページを通じた普及啓発
 ・多職種間の交流、人材育成を目的とした研修会の開催

○ 在宅医療に関する情報共有の仕組み(ICTシステム)の構築

〈名称〉 いずみネット

〈内容〉 ・在宅療養患者を訪問した医療・介護スタッフが、その患者に関する情報をタブレット端末等から入力し、その情報を関係者間でリアルタイムに共有することで、切れ目のない効率的な医療・介護サービスの提供を支援する。
 ・加入機関数:27か所
 (内訳: 病院3、診療所10、訪問看護1、薬局4、特別養護老人ホーム2、その他介護事業所5、五泉市東蒲原郡医師会1、五泉市阿賀町歯科医師会1)

8

介護保険事業に関する五泉市の取組

○ 五泉市在宅医療・介護ネットワークの会

<メンバー>

- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、生活相談員、医療ソーシャルワーカー、市、県

<活動>

- ・ 関係者会議や多職種連携研修を実施し、医療関係者と介護関係者の連携を促進する。
- ・ 市民公開講座等を実施し、市民に対する病院以外での看取りの普及啓発を行う。
- ・ 介護関係者に看取りケアの研修を実施し、技術向上を図る。

○ 常設型通いの場

きなせや悠遊館、いきいきシニアプラザ村松

<利用対象者>

要支援対象者または自立の高齢者

<内容>

- ・ 月～金で開館しており、ゲーム、カラオケ、趣味活動、季節の行事などを行う。
- ・ 利用料：1日200円

9

医師・看護職員の現状と対策について

【現状】

- 本県の医師及び看護職員数はともに着実に増加しているが、医師数は全国平均と比べて少ない状況。看護職員数は、全国平均を上回っているが、看護職員を確保できずに病棟を閉鎖する病院もあり、実態として不足している状況。

	新潟県		全国（平均）	五泉市	
	H18	H26	H26	H18	H26
人口10万人当たり医師数	185人	200人（第43位）	244人	87人	92人
人口10万人当たり看護職員数	978人	1,195人（第28位）	1,087人	724人	813人

【対策】

<医師確保>

- ・ 修学資金を貸与した医師等を、医師不足地域に一定期間配置
- ・ 県と県内病院等が共同で、医学生・研修医に向けた情報発信を強化、合同ガイダンス等を実施
- ・ 医療従事者が働きやすい勤務環境を整備
- ・ 県のみで対処困難な医師の偏在解消に向けては、実効性ある対策を国に要望

<看護職員確保>

- ・ 看護職員養成施設への支援、看護教員・実習指導者の育成
- ・ 再就業希望者への就職相談、最新の知識について習得する機会の提供
- ・ 県内で勤務しながらキャリアアップできる体制の構築

10

介護人材の現状と対策について その1

現状

・年平均1,000人の増加
・不足感を感じる事業所は6割以上

(1) 介護職員数の推移

○ 年度により上下はあるが、平均すると年1,000人程度増えている。(人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
常勤換算数	22,057	23,667	25,808	26,082	27,136	27,666
対前年度	+748	+1,610	+2,141	+274	+1,054	+530

厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

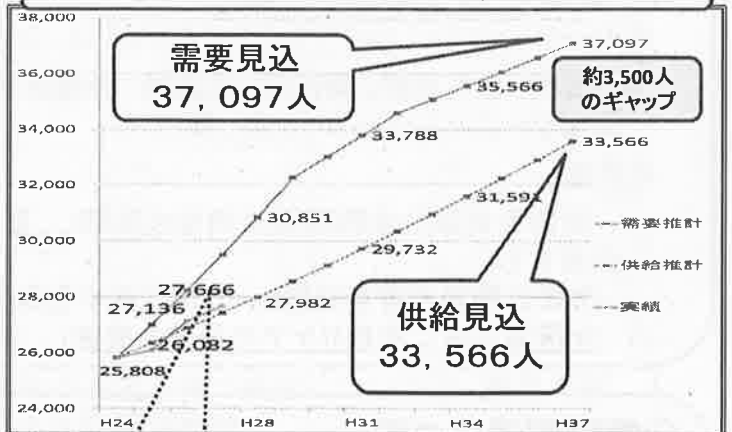
(2) 人材の不足感

○ 施設・事業所の6割以上が従業員が不足していると感じている。(%)

	合計	「不足している」			適当&過剰
		大いに不足	不足	やや不足	
新潟県	65.3	10.2	19.7	35.4	34.7
全国	61.3	7.5	23.0	30.8	38.7

介護労働安定センター「H27介護労働実態調査」

需給推計 ⇒ 平成37年には、約3,500人不足する



平成27年の介護職員数 27,666人

国の推計に基づき県が常勤換算で算出

対策

就業促進

介護の仕事の魅力発信
(職場紹介・体験、学校訪問、PR動画作成支援、介護技術コンテスト開催 など)

マッチング支援

修学資金等の貸付

定着促進

資格取得支援

資質向上のための研修会の支援

事業所における職場環境改善などの処遇改善の取組への支援

介護人材の現状と対策について その2

介護の仕事の魅力発信（職場紹介）の取組

特別養護老人ホーム 菅名の里

新人職員研修
「二人には！石版です。半日で勤務13年です。年経るとは思ってもここまで成長することができました。」

「私と同期に新人職員5名が、1日かけて介護の基礎知識を学びました。」

「今後は私が先生役！介護の楽しさも教えますよ！」

「新しい資格や設備を自分自身で体験！そして若手！子育て中も安心して働きやすい小学校就学児童で活動参加していただきます。」

「いいがたかいこのお仕事」のサイトに繋がります。→県が作成したポータルサイトです

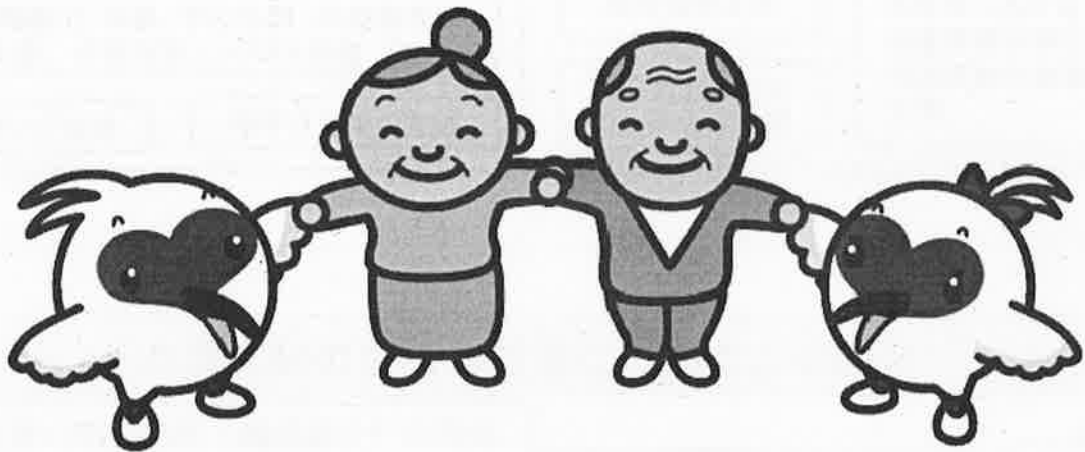
「なにかいご」

詳しくはこちらを御覧ください



「いいがたかいこのお仕事」のサイトに繋がります。→県が作成したポータルサイトです





H29. 9. 5

「平成29年度 第3回 知事とのタウンミーティング」

安心して暮らせるために、
今後の地域医療と介護を語ろう!

★★★ 来場者アンケート ★★★

本日はタウンミーティングにご来場いただき、ありがとうございました。お手数ですが、今後の参考といたしますので、アンケートにご協力くださるようお願いいたします。

《差し支えなければ性別、年齢、ご職業をお答えください》

(性別: 男性 女性) (年齢(代):) (ご職業:)

問1 ディスカッションの内容は理解できましたか。

(該当するもの1つに「O」をお付けください)

- 1 理解できた (その理由は:)
2 理解できなかった (その理由は:)

問2 ディスカッションの内容は参考になりましたか。

(該当するもの1つに「O」をお付けください)

- 1 参考になった (その理由は:)
2 参考にならなかった (その理由は:)

問3 米山知事の意見・発言を聞いて、どのように感じられましたか。

(該当するもの1つに「O」をお付けください)

- 1 わかりやすかった (その理由は:)
2 わかりにくかった (その理由は:)

(裏面に続きます)

問4 タウンミーティングの運営やディスカッションの構成について、気付いたことや感じたことなどをお聞かせください。

ここに回答を書き込んでください。

*** テーマについてお聞かせください ***

問5 今回のテーマや内容について、本日の対話をふまえたうえで、ご自身のお考え、ご意見などがありましたらお聞かせください。

ここに回答を書き込んでください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

お帰りの際に、受付の「アンケート回収ボックス」にお入れください。